



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会

浜松東地区安管協会の活動紹介

「交通死亡事故現場診断」を実施（令和3年5月中）

浜松東地区安全運転管理協会は、地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を目的に、この5月中に管轄警察署の「交通死亡事故現場診断」に参加し、今後の事故防止対策を協議しました。

【浜松東地区】

5月18日（火）、警察本部交通企画課及び交通規制課、浜松東警察署、浜松市役所、土木事務所、安協浜松東地区支部等の関係団体と浜松東地区安全運転管理協会から理事、事務局等3人が参加し、合計27人により

5月8日（土）の夜間、浜松市南区増楽町地先の国道で発生した交通死亡事故（普通乗用車と自転車との衝突事故、自転車で走行中の82歳男性が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は片側1車線の直線道路で、自転車が通行できる路側帯及び歩道が設置されており、現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- 事故発生を知らせる看板等を設置し、自転車や歩行者に注意喚起する。
- 警察等における自転車指導や関係団体による街頭広報活動を推進する。

などの意見が出され、今後の交通安全活動に反映させることとしました。



【参加者による現場診断の様子】



【再発防止対策について協議】